




## 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	QI JIAJIA	
カナ又は漢字氏名	元佳佳	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	2年生	
4.学校名	県立広島大学	
5.学種	大学院	写真 タイトル 広島の秋
6.所属研究科・学部等名	総合学術研究科情報マネジメント専攻	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は大学3年生の時に、大学のプログラムを通じて、福岡の大学で半年間、交換生として日本に留学しました。その頃から、日本の文化に興味を持ち始めました。中国で大学を卒業した後、日本に留学することを決めました。日本への留学を選んだ理由としては、日本は世界的に見ても衛生的な国で、水道水をそのまま飲んでも問題ありません。ほかの国に比べて治安も良いため、日本で暮らしたいと考える外国人は多いようです。また、食事のクオリティの高さや社会保障制度の充実度、人々のマナーの良さなどが暮らしやすさの理由となります。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本での留学生活は、常に新しいことに挑戦していると感じます。一人で生活するのは初めてで、なんでも自分でやらなければならない状況の中で、生活することの大変さを学ぶことができました。はじめのうちは知らない人ばかりで、不安でいっぱいでしたが、毎日新しい人と出会えたことで、たくさんの友達を作ることができました。広島の季節は、特に秋は紅葉で景色がとてもきれいです。この写真は、筒賀の银杏神社でおみくじを引いた時に撮った美しい写真です。学習奨励費のおかげで、自分が関心のある分野の研究に専念することができ、また日本の社会生活を深く体験して、日本の学生や他国の学生と交流して、いろいろな文化を体験して、友達を作ることができました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>就職か進学かを早めに決めて、目標を決めたら、周りの情報や助言などを上手く活用することはとても重要だと思います。例えば、学校の就職支援指導、先輩からのアドバイス、各会社の説明会、そして参加するためにホームページをできるだけ利用しましょう！たとえ挫折したとしても、諦めずに継続して頑張れば、きっと良い結果があります。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本に留学したいなら、まず日本語を勉強しなければならない。できれば、日本の方と言語交換を通じて、日本語会話を練習しましょう！入学後、自分の研究に専念しながら、未来の目標を立てて、目標に向かって、努力して前進しましょう！</p>		


## 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	DING MINGLIN	
カナ又は漢字氏名	非公開	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	2	
4.学校名	北九州市立大学	
5.学種	大学院	写真 タイトル 学校にて
6.所属研究科・学部等名	社会システム研究科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は中国の大学を卒業した後、勉強を続けたいと思いました。私の専攻は中国文学で、世界で中国文学との繋がりが一番深いのは日本です。その日本が中国文学をどのように研究するかということに私は深く興味を持ち、日本へ留学したいと思いました。</p> <p>日本の大学院の入試は、特に文系専攻に対して日本語力が必要です。そのため、私は最初に日本語学校で日本語を勉強しました。授業以外の時間には日本語の番組を見たり、日本語の文章を読んだりし、着実に単語や文法を覚えていきました。おかげで最終的には日本語能力試験N1に合格し、大学院の入学試験も合格しました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、父と母が勤める会社の経営状態は悪化し、家庭の年収がかなり少なくなりました。そのため留学の生活費と学費が家庭の難題になりましたが、JASSO学習奨励費のおかげで、経済的な不安が軽減されました。</p> <p>留学生活ではアルバイトをせず、大学院の学業に専念しています。授業後は毎回、講義内容を整理し、次の授業の前に復習します。また、毎週、図書館で自身の研究に関する論文を探して読み、メモを作成します。そして時々、JASSO学習奨励費で興味がある書籍を買います。私はこうしてとても充実した大学院生活を送っています。学業以外では、合馬で竹林セラピーを体験し、護聖寺では精進料理を味わったり、博多町家の「ふるさと館」や太宰府天満宮を訪問したり、様々な日本文化体験活動に、積極的に参加しました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>就職活動は、できるだけ早く準備し始めることをお勧めします。早いうちに会社説明会やウェブ上から企業の情報を得て、必要とする資格免許等を確認することが、就職活動に有益になると思います。私は修士2年の秋から準備しましたが、少し遅かったです。履歴書やエントリーシートが苦手、面接の練習も足りないため、就職活動が順調に行くとは言えません。正直、今は就職活動をしながら修士論文を書くことが大変難しいと感じています。そのためまずは、修士論文に集中し、修了したら今後の進路を考えたいと思います。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本の文化活動やボランティア活動が非常におもしろいです。機会があれば、是非参加してください。</p>		


## 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	CHIANG CHENGLIN	
カナ又は漢字氏名	ショウ ショウリン	
2.出身国又は地域	台湾	
3.学年	2年	
4.学校名	獨協大学	
5.学種	大学院	写真 タイトル 大学院進学時に咲いていた桜
6.所属研究科・学部等名	経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>出身国である台湾の大学に進学しましたが、自身の進路を考えた際に海外で学習してみたい、何か新しいことに挑戦してみたいという気持ちが強くなりました。</p> <p>アメリカ、オーストラリアなどの欧米諸国への留学を希望する知人や先輩たちも多く、英語圏で英語力を上達させることを目標とすべきか悩みましたが、大学では日本語を専攻していたため、私の両親もその成果を活かすために日本への留学を後押ししてくれました。</p> <p>海外での就業・自立を視野に入れ、日本では大学院において経済学を専攻しようと考えました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>獨協大学の教員・スタッフがとても親切に接してくれた留学生活でした。また、学習とアルバイトを両立するように取り組みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う経済不況に加え、母の病気による家計状況の悪化などが心配でしたが、学習奨励費を受給できて大変助かりました。</p> <p>学習面のみならず、就職活動や生活面の支えになったことを非常にありがたく思っています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>修士課程2年次には、論文作成のための文献収集・指導教員との研究に関する打ち合わせなどで忙しい毎日であり、リーディング・ライティングといった日本語能力をより高める必要性を痛感しました。</p> <p>就職活動においては、ベンチャー企業論に関する研究を通じて、自身でも日本において会社法人を設立・経営していくことの魅力を感じ、大学院修了とともに起業する道を選択しました。出身国と日本を結びつけるビジネスを展開すべくこれからも頑張ります。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>自分が何をしたいのか、どのような職業に向いているのかを自己分析し、後悔のない進路を選択することが重要だと思います。</p> <p>納得できるまで多くの悩みがあると思いますが、諦めずに頑張ってください。</p>		

## 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1. アルファベット氏名	ZHANG LIANG	
カナ又は漢字氏名	チョウ リョウ	
2. 出身国又は地域	中国（山西省）	
3. 学年	1年	
4. 学校名	亜細亜大学	
5. 学種	大学院	写真 タイトル 日本語コーナーにて
6. 所属研究科・学部等名	アジア・国際経営戦略研究科 アジア・国際経営戦略専攻 博士前期課程1年コース	
7. 学習奨励費受給期間	開始年月 2022年4月 ～ 終了年月 2023年3月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>出身校は大連海事大学、大学院の専攻は日本語翻訳です。2015年に、大連交通大学を入学し、専攻は日本語とソフトウェアです。2020年、大連海事大学に進学し、日本語翻訳を研究しました。私が参加した共同学位プログラムは、大連海事大学外国語学院が選抜し推薦された学生が、亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科博士前期課程において実施する海外指定校推薦試験の選考により入学し、修了要件を満たすことにより、双方の大学院から修士(碩士)の学位が取得できるものです。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>今年4月の入学式に続いて、まず論文の研究計画書を提出し、履修科目を選択します。一年間の共同プログラムの留学なので、この1年間に2年間の基礎科目の勉強と論文の執筆をしなければなりません。履修科目の選択に関しては、AIBS研究科は幅広いコースを提供します。必修の基礎科目に加えて、将来の論文研究の方向性に応じて、経営学に関連するさまざまなコースを選択することが可能です。全科目とも、事前に先生から各レッスンのシラバスがメールで送られてくるので、事前に授業の内容を熟知しておくことで、レッスンのペースについていけるようにしています。その後、先生は各レッスンでケースやトピックを紹介し、学生たちが質問したり、意見を述べたり、グループで話し合ったりできるようにしています。その後、グループで分担して授業を行い、1週間で次の授業に向けたプレゼンテーション、発表の準備を行います。週に数回の発表をすることで、言語整理能力だけでなく、分析力や要約力も向上したと感じています。AIBS研究科は主体性を育むこの講義形式が、事例分析や言語能力の訓練にもなり、学習状況の確認や授業への参加率を高めるのに最も効果的な方法です。1年間の留学は、勉強の面でもストレスがかかりますが、その後のリラックスも欠かせません。学校ではさまざまな留学生交流イベントが開催されるだけでなく、週末は友人とハイキングに行ったり、山に登ったり、キャンプをしたりして、完全なリラックス状態になりました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>とても忙しい一年だったかもしれませんが、とても充実した一年であったことは確かです。今年度も半分が過ぎましたが、有意義な旅になったと思いますし、決断してよかったと思います。留学は自立心を養うのに最適な方法であり、全く新しい国、新しい環境で多くの新しいことに立ち向かうのは勇気のいることです。亜細亜大学への留学を楽しみにしているのなら、行く決心をしてください。結局のところ、人生には変化が必要で、居心地の良い場所から抜け出して、外国でより自立した刺激的な人生を送ることを楽しみにする必要があります。</p>		

## 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	YUAN GUANGYUAN		
カナ又は漢字氏名	苑 広媛		
2.出身国又は地域	中国		
3.学年	1		
4.学校名	立命館大学		
5.学種	大学院		写真 タイトル 伏見稲荷大社での写真
6.所属研究科・学部等名	情報理工学研究科		
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月		
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は来日前に、日本での友達ができ、みんなの助けのおかげでとても順調に家を借りることができました。コロナのために2か月遅れの来日でしたが、その間、先生や先輩たちの助けをいただき、オンライン授業で勉強を続けることができました。また、日本での生活には不安があり、日本での生活に適應するために、たくさんの工夫をしたり、たくさんの友達に相談したりしてきました。みんながいろいろと助けてくれ、日本での生活をよく理解することができました。</p>			
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本に来たあと、中国での生活とは全く違うことに気づきました。日本では、自由に外出し、日本文化を体験することができます。日本の友人や先輩たちに助けられ、とても日本での生活に慣れました。また、夏休みには日本各地へ旅行して、日本の伝統文化に体験しただけでなく、現在の日本の社会発展や技術普及を、より深く理解しました。日本での生活を経験しながらも研究を滞りなく進め、教授や先輩たちのご指導の下、無事に学術誌に投稿し、12月の出版に向けて準備を進めています。今後は今まで以上に学術研究を行い、将来の計画を立て、日本での就職を準備をしています。</p>			
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>日本に来る前は、日本にこんなにたくさんの奨学金や研究費があることを知らなかったです。来日する前に日本の留学生は生計を立てるために様々なアルバイトをしていることが多いと聞きましたが、JASSO奨学金のおかげで、生活費のために走り回る必要がなくなりました。同時に、この生活費の支援のおかげで、12月に学会発表することができました。だからこそ、日本で勉強や研究ができ、就活活動の時間があります。</p>			
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>来日後はアルバイトと勉強の両立をしなければなりません。生活面での支援が得られたとしても、勉強を忘れてはいけません。</p>			